

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

ガバナー月信 | 2016-17年度
国際ロータリー第2790地区(千葉県)



Rotary Serving Humanity

ロータリー親睦活動月間



Municipal 80th Anniversary Funabashi Port Water Park Firework Display

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ	1	米山記念奨学会ニュース 206号	12
年間所感	2	コーディネーターニュース 2017年6月号	12
ガバナー補佐 年間所感	3	文庫通信 356号	12
委員長 年間所感	7	叙勲・褒章・表彰、寄付者、新ロータリアン	13
米山梅吉記念館便り	12	出席・会員数報告、ロータリーレート	14

2017年 **6** June 月号

COPY FOR MEMBERS
発行 / 2017年6月1日

VOL. 12

地区行動指針「感謝と挑戦」

*Pursuing activities
sharing The Appreciation*



5月22日(月)RLI『卒後コース』於千葉市民会館

—— 2016-17年度を終えるにあたって ——

今年度も残り1ヶ月となり、クラブの会長・幹事の皆さんへの情報伝達小冊子「ガバナー月信」の「ガバナーからの手紙」も、今回が最後となりました。国際ロータリーの動向、日本及び地区の現状、また、特別月間に関する情報等を、時には、私の考え・思いを含めてお伝えしてまいりましたが、少しは、皆さんの参考になったでしょうか？

そして、クラブの活動は、皆さんのリーダーシップの下に活性化され、元気なクラブになりましたか？

今年度最大の話題・課題は、昨年4月の規定審議会で決議された近來稀な標準RC定款等の大幅改定です。会員が日本・米国等で減る一方、インド・韓国・ブラジル等で急増する中、RIは、4つのテスト、職業分類、中核的価値観等の基本理念は変えることなく、変化する社会、多様化する地域特性等に柔軟な対応を認め、クラブ活動の活性化を図ると共に、クラブ運営の責任をクラブに委ねる規定を昨年7月1日発効で導入しました。

従って、地区は、5月末に標準RC定款等の改定点をクラブに開示すると共に、公式訪問の卓話の半分を費やして解説しました。

しかし、マイロータリーを通じた発表は、規定審議会決定報告書が6月11日、日本語版RI定款・細則、及び標準RC定款が9月中旬、そして日本語版手続要覧発行は年明けになる現状では、新規定に基づく各クラブの細則等の見直しが発効半年後になるのはやむを得ない状況です。

規定審議会開催時期が3年毎の4・5・6月のいずれかで、発効日を7月1日としている現行規定を改めない限り、3年毎に同じ問題が発生すると思います。ロータリーの公用語は、英語で、RIの文献は日・独・仏・韓等10ヶ国語に翻訳されていますが、標準RC定款等の正文が何語かの明記が無いのは、規定解釈に混乱をもたらします。因みに、私は、航空会社時代に運送約款の編纂に携わ

りましたが、状況によっては裁判沙汰にも繋がるため、運送約款には、英語版が本文で日本語版は参考との注意書きがあります。

ジャームRI会長が私達に課した今年度最重点取組事項は会員増強です。当地区の現状は昨年11月末の2,840名が最大で、至近の4月末は2,825名です。期首(昨年7月1日)比で14クラブが減少、21クラブが現状維持と、約4割のクラブは会員が増えています。期首51名以上の10クラブは2名、他は1名の会員増目標を地区全体では現在超えています。6月末退会者を極小化し、地区目標2,822名、少なくとも地区番号と同じ2,790名を期末に超えるよう願っています。

尚、2016年1月RI理事会は、会員増強戦略を「Membership Development」から「Membership Attraction and Engagement」に変更し、英文委員会会名も変えました。即ち、単なる会員の開発・拡大から、入会したいと思うような魅力あるクラブ創り及び運営を通じ、新入会員を引付けると共に、会員間の絆を深めて退会を防ぎ、仲間の輪の拡大に繋げる戦略に変えたようです。従って、会員がロータリアンになって良かったと思うことが出来るようなクラブの創設・活動が重要です。

今月は、ロータリー親睦活動月間です。奉仕と親睦を目指すロータリーで親睦月間が最後に来るのも妙な感じですが、親睦の原語Friendship(友好)を大切に、仲間との絆を深めると共に、ロータリー活動を通じて相互自己研鑽に励みましょう。

7月からの私は、1ロータリアンとして、クラブの活動活性化、魅力あるクラブ創設等に寄与できるよう努めてまいりますので、皆様には、今後とも、宜しくお願いします。

最後にあたり、この1年間の皆様のご理解とご協力に感謝すると共に、7月から始まる寺嶋年度の順調なスタートを祈念申上げて、筆を置きます。



地区研修リーダー
白鳥 政孝
(市原 RC)

今年度を振り返って

研修委員会は実に遣り甲斐のある仕事でした。分区ごとのロータリー情報研修会が復活したこと、RLIでは受講者が延べ150数名に達し、ファシリテーターを20数名輩出しました。これは特筆すべきことであります。

ロータリー情報研修会では、参加者はロータリーの基本理念について歴史を交えた映像で学んだ後、テーブルごとに自由にロータリーを語りあい、ロータリーに一層関心を寄せたようで納得のいく研修会となりました。

未経験にも拘らず準備したガバナー補佐と研修委員会の連携は見事でした。ロータリー情報研修会は地区として毎年開催しなければならないと強く感じた次第です。

対話を基本とするRLIは7年目にして地に足が着き、クラブの運営や人間形成へ及ぼす影響は計り知れません。

今後、ロータリーがまともに発展し続けるには、ロータリアンが共有する中核的価値観を磨きあいRLIの神髄である対話をくまなく導入することにあると信じます。



地区研修サブリーダー
森島 庸吉
(船橋西 RC)



副ガバナー
櫻木 英一郎
(千葉 RC)

これからのロータリー

2016年の規定審議会ではロータリーの方針の見直しを行い、クラブ運営に大幅な柔性を認める決定が行われました。

「はるか昔を振り返るほどはるか先が見えてくる」という名言がありますが、これは私たちロータリアンが長い間ロータリーの基本理念と原則を大事に守ってきたからこそ、110年もの歴史が積上げられてきたものと思われます。一方で多様化、複雑化された時代のロータリーも変化に対応する必要に迫られています。国際情勢の変化、国内人口の減少の中で若い人を会員に迎えるにはどのような方策が必要なのか。世界中から集まった規定審議会の代表議員は、その答を出しました。柔軟性の導入は、クラブの主体性と自治権を尊重したものであり、ロータリーの基本理念や目的は一切変わっていません。急成長の国、会員数の減少や高齢化の国等、国際情勢は常に変化しています。基本理念と目的を共有しながら、世界各地で多様なクラブが増えてくることと思います。

改革の路線に期待して

副ガバナーとは、ガバナーが何らかの事情で役割の遂行が出来なくなった場合に一時的なガバナー役の代行をする役職です。ガバナーになる条件は色々ありますが、そのすべてをクリアしているガバナー経験者が就く事になっています。我が地区ではこれまで直前ガバナーが就いてきました。さて、ロータリーでは今次の規定審議会に見るようにクラブの運営も大いに多様性を持てるようになりました。従来の日本的な固定観念では益々RIの流れと乖離するでしょう。本年度の青木ガバナーは、RIから新たに義務づけられた幾つかの要件を含めてガバナーとして立派に活動され、地区委員会の幾つかにも改革の手を入れられました、この方向が今後の路線となる事を期待します。本年度は青木ガバナーがお元気だったので副ガバナーとしての出番は殆どありませんでした。副ガバナーとしての一年が文字通り無事に過ぎようとしています。青木ガバナーお疲れ様でした。

ガバナー補佐 年間所感



第1分区ガバナー補佐
藤原 孝夫
(市川南RC)

ガバナー補佐に任命され、一抹の不安を抱いていた私が無事職責を務めることが出来たのも、皆様の多大なご支援ご協力の賜物です。「感謝と挑戦」一元気なクラブづくり仲間の輪の拡大に繋げよう—私たちは素晴らしい仲間と出会いをして人のために役立つためにも、これからも会員増強に頑張ります。一年間多くの勉強する機会に恵まれ、優れたロータリアンに出会えたことに感謝いたします。至らないことが多くご迷惑をおかけしましたが、ホストクラブや分区内会長幹事はじめ会員のクラブの皆様に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



第2分区ガバナー補佐
岡田 敏男
(船橋東RC)

補佐の人選はクラブ輪番制によることから船橋東RCより私が第2分区ガバナー補佐を引き受けました。同じ分区内、クラブとはいえ、各クラブの例会のやり方が異なること、西クラブはクラブの歌があり、鎌ヶ谷RCは、ゴルフ場のクラブハウスです。1年間各クラブ4回訪問して、ガバナー合同公式訪問等経験したことによる一番感じたことですが、会員数次第です。活気あるクラブ要件ですが、若い会員が多いか、女性会員が多いかです。15名、30名、40名参加者数で例会の雰囲気異なります。会員増強が必要ですが、退会防止、会員維持が大切であることがガバナー補佐になって1年間の感想です。第2分区の会員皆様に熱く感謝します。鈴木恭浩、大原俊弘、織戸豊、瀧照正補佐幹事、佐々木光博会長、遠田毅幹事、西川典子事務局に感謝です。



第3分区Aガバナー補佐
卯田 惣治郎
(千葉中央RC)

重責を担ってのスタートでしたが、私自身のなかでは有意義で充実した一年で有りました。仲間に支えられ物事を無事に実行でき、又多くの友人にも巡りあう事が出来ました。

何より毎月の合同幹事会の中で若い会員に囲まれ飲み、語らう事に刺激を受けました。彼らの将来の活躍を確信しています。自らが心を開けば先輩、仲間達が持っている知識、知恵を十二分に教示してもらえる事も学びました。

分区内の皆様の暖かいご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



第3分区Bガバナー補佐
金親 博榮
(千葉南RC)

「早1年が過ぎた」と言う感慨です。一昨年9月、任期に先立つ事10ヶ月前には、その準備、教育期間がスタート。しかし、その後は「案ずるよりは、産むが易し」のごとく、飛び込めば、あっという間の終わりでした。就任前の迷いに反し、終わってみれば、受けてよかったと言う感謝、安堵に包まれています。

変革の年の中で、何がロータリーの「肝」なのかという問いに対して、これまでに無く、教えられ、読み、考え、伝え、広める1年間でした。大いなる学びの機会を与えてくださったクラブ、先輩、後輩、同期の方々に御礼を申し上げます。



第4分区ガバナー補佐
小野 恒靖
(富津中央RC)

ガバナー補佐を拝命して早くも一年が経とうとしています。

振り返ってみると、この様な大役を身の程知らずによくも引き受けたものだと、今更ながら事の重大さを痛切に感じているところであります。

細かい殆どの事務作業は幹事の須藤幹事をお願いしました。そしてまた分区の皆様の温かいご支援、ご協力があったからこそ出来た大役でした。感謝の気持ちで一杯です。青木ガバナー、藤崎幹事長1年間ご苦勞様でした。

私の座右の銘は、寛容、忍耐、感謝ですが素晴らしい言葉だと思います。よく、ロータリーは人を創り、人を変えると申します。まさにその言葉の通りだと思いました。貴重な経験をさせて頂き有り難う御座いました。



第5分区ガバナー補佐
鈴木 陽一
(館山ベイRC)

当該年度が始まらない中、何度かの研修とガバナー補佐会議を経て不安のうちに2016年～2017年がスタートしました。この一年で印象に残っている事は、第7回ガバナー補佐会議で白鳥パストガバナーが仰られた「ロータリーの方法手段は変わってもロータリーとして基本の精神は変わってもいけない。ロータリーの目的は変わらない」この言葉です。最後に第5分区内6クラブの会長幹事さん会員の皆様、青木ガバナーをはじめ地区スタッフの皆様に心より感謝を申し上げます。



第6分区ガバナー補佐
河野 知宏
(茂原東RC)

ガバナー補佐の任期が終わりますが、青木ガバナーの温かいご指導並びに分区内の会長、幹事をはじめ多くの皆様のご支援によるものであり、心から感謝申し上げます。

一年を顧みると、ガバナー補佐として何を残すことができたか甚だ心細い限りではありますが、改めてロータリーの理念をより深く学ぶことができたこと、そしてすばらしい仲間に出会えたことを誇りに思います。

この経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。

ご支援いただきました関係各位に、心からお礼申し上げます。



第7分区ガバナー補佐
鈴木 勝彦
(八日市場RC)

第7分区ガバナー補佐を拝命し、私のロータリー人生の中でも特に充実した一年を送ることができました。

与えられた行事を実施するにあたり、準備する企画の大事さ、特に推敲することの大事さを再認識致しました。所属する八日市場RCの皆さんの協力のもと、第7分区会員皆様に温かく迎え入れていただき役が終えられますこと感謝にたえません。2790地区及び第7分区の4クラブの発展を祈り御礼の言葉と致します。



第8分区ガバナー補佐
山崎 吉高
(多古RC)

ガバナー(以下G)補佐は、呼んで字のごとくGの補佐をする役目です。青木Gのサポート役でGのメッセンジャーでもあると考えられますが、果たしてGのお役に立てたのかと反省しきりです。分区内各行事も、各会長、幹事・会員のこころ強いバックアップにより成功裡に終わりました。御礼申し上げます。

分区内クラブ訪問では、お会いした方々が、活動を真剣に考え、真面目に取り組んでいる姿に感動を覚え、『真摯なこころ』に触れた感がありました。終わりに、G補佐になって、多くのロータリアンとの知己を得る機会に恵まれ、こころの財産を得ることができました。ロータリアンの皆様にも是非このような経験をされることをお勧め致します。



第9分区ガバナー補佐
高橋 宏一
(八街RC)

同じ第9分区からの青木ガバナー年度に、ガバナー補佐(AG)を務めることができたことは幸運でした。同期のAG仲間にはfacebookの友達が二人、旧知のRtn.が二人、名刺交換で判明した遠縁にあたる方が二人と仲間が多くて心強かった。2ヶ月毎に開催した分区の会長・幹事会は、幹事クラブにその都度会場設営にお骨折りをいただき感謝します。情報研修会とIMは、終わってみると達成感に浸ることができました。各クラブ会長・幹事様のご協力に感謝!!



第10分区ガバナー補佐
石戸 卓志
(柏東RC)

反省文を提出する様に支持を頂いたが、一言で言えば「終わってしまえばすべて良し」という心境である。

入会してから相当の年数となればG補佐の役職は受けざるを得ないと覚悟していたが、私の想定内ですませた部分が多かったので青木ガバナーには不満足な点があったのではないかと思う所は有り。近年私の考える「ロータリー」とは乖離しつつあることが誠に残念に思われるこの頃である。



第11分区ガバナー補佐
岡村 美智子
(佐倉RC)

補佐を経て驚いたことは、補佐の会計、クラブからの支援が分区により実にマチマチであること。我が身が如何に恵まれているかを感謝すると共に、今後のためにある程度の基準が示唆されることを提案出来ればと思う。

始まる前は不安大だったが、今は、「楽しきことのみ多かりき」という感じである。それは、ガバナー・補佐仲間を始め皆様から貴重なお話・経験をさせて頂いた故と思う。



第12分区ガバナー補佐
小倉 純夫
(松戸RC)

AG就任に当たり、様々な資料を読んで頭の中ではその任務を理解したつもりでいました。しかし、いざ実践となると何から始めてよいかわからないまま1年間が過ぎてしまったというのが実感です。昨年7月地区最初のガバナー訪問では、合同例会でのクラブ協議会をどのように進行すべきか当惑しました。情報研修会、IMでは当初思い描いていたものとは異なりましたが、「良かった。勉強になった」と声を掛けられホッとしました。クラブ訪問では、分区内でさえ様々な運営がなされていて驚きました。この1年間改めてロータリーの奥深さを勉強させていただきました。「ロータリーは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりである」との原点に立ち戻る必要を強く感じた1年でもありました。青木ガバナー、地区役員の皆様のご指導と分区内全てのロータリアンのご支援に感謝します。

有難うございました。



第13分区ガバナー補佐
青木 修
(流山RC)

ロータリーは「人生道場」「人を育てる」とよく耳にします。クラブの会長・幹事、そして今回のガバナー補佐という役、どれも自分にとっては身に余る光栄でした。何れも就任するまでが不安感等で大変ですが、スタートしたらひたすら一生懸命やるだけ。どれだけお役に立てたかは分かりませんが、今日までの多くの人との出会いや友情により、私もさらに成長できたと思います。13分区の皆様、地区関係者に感謝申し上げます。

委員長 年間所感

管理運営
総括委員会



会員増強・退会防止委員会
委員長 高橋 潤一（新千葉RC）

ここ数年、ロータリーにおいて会員増強は大きな課題になっております。会員の人数は徐々に回復に向かってきております。しかしながらその人数は、充分とは言えない状況であります。単に人数を増やすのではなく、自クラブの現状にあった増強が必要とされております。本年度においては15クラブ余りの例会において卓話をさせて頂き、各クラブの現状と増強に対する意気込みを感じる事ができました。人に任す事無く、積極的に行動しなければ会員増強に繋がらないのは当然であります。

ロータリーの末永い活動を考えるに、若いメンバーの入会と、女性の入会は急務と考えます。しかしながら、会員増強を急ぐとクラブの衰退を招くことも考えられます。中、長期的に考え、自クラブの状態にあった増強を考えて頂くことを望みます。

一年間、大変ありがとうございました。



フェローシップ委員会
委員長 山内 尚美（柏RC）

初めて地区のお仕事をさせて頂きましたが、改めて自クラブや他クラブを知る良い機会となりました。特に女性交流会では明るく、パワフルな女性会員との出会いがたくさんありました。これを機にますます女性会が盛り上がり、楽しい活動が広がれば地区全体の活性化に繋がっていくものと期待しています。私にとって地区の活動は、ロータリーへの視野が広がり新たなロータリーの魅力に気付くきっかけをくれました。一年間、ありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



管理運営統括委員会
統括委員長 齋藤 博昭（浦安RC）

管理運営統括委員長を軽い気持ちで受けてしまい、大変後悔をしたことを、今でも鮮明に思い出されます。最初の全体会議を開催したところ、各委員長から熱意のある思案・提案を頂きました。その目標へ向かっての行動力には感心させられるばかりでした。管理運営の各委員会は、ロータリーアン誕生と育成のための順路を考え、誕生へは広報・公共イメージ向上でロータリーを知ってもらい、会員増強で新入会員の入会を促進し、入会後はフェローシップで親睦を深め、研修・RLIでは、ロータリーへの知識を深める等、一人のロータリーアン育成のために行動すべき委員会であり、またそれに沿って行動して参りました。

スタートしてから約1年半、委員会の皆様、各クラブの皆さまには多大なご協力を賜り、微力な私を支えて頂いたこと、厚く感謝申し上げます。



広報・公共イメージ向上委員会
委員長 大塚 義仁（浦安RC）

青木ガバナーを始め多くのロータリアンの皆様に支えられ1年を経過し、大変貴重な経験が出来たと実感するに至りましたこと、この場を借りまして感謝申し上げます。

本年度はクラブでの活動を外部発信して頂こうと、ITを活用した仕組みや、ツールの提案をしてまいりましたが、十分な浸透を見ないまま一年が過ぎました。しかし今後のロータリー活動拡大に必須な過程ですので、次年度以降も更なる外部発信に取り組んで頂きますようお願いいたします。



ロータリー研修委員会
副委員長 諸岡 靖彦（成田RC）

ロータリー研修委員会は青木ガバナーのミッションに従って、入会5年未満の会員の定着が課題でした。4月29日地区協議会と7月30日クラブ研修リーダーセミナーが布石、本番は10月から始まる全14分区のロータリー情報研修会です。布石となる2つの機会は、準備不足と参加者とのギャップが大きく不調に終わりました。RLI小委員会の皆さんと必死で研鑽しました。お蔭で本番は好評を得ることが出来ました。次につながる肥やしとなりますように！



RLI日本支部地区代表委員
PDG 関口 徳雄 (浦安RC)

このRLIは、かつて一部有志の同好会的な存在であって、自費で東京や埼玉で開催されたRLIに参加していたものでした。

草の根運動として発展したこの素晴らしいリーダーシップ開発のプログラムは、参加ロータリアンの資質を高め、ひいてはクラブの活性化に繋がるものであるとの思いから、日陰に置くことを能わずとして私がガバナー年度(2013-14)の時に若干の予算をつけて試験的に実施したものです。今日、委員会組織となって他地区からの参加も得て、盛況裏に終了しましたことは、海寶委員長をはじめ、委員及びDLの皆様の御努力のおかげと感謝申し上げます。

委員長 年間所感

奉仕プロジェクト
総括委員会



職業奉仕委員会
委員長 中村 俊人 (柏東RC)

青木年度に於きまして職業奉仕委員会は、奉仕プロジェクト委員会として国際奉仕委員会・社会奉仕委員会と共に会合を重ね、奉仕プロジェクト地区委員の皆さまと共に活動させて頂きました。職業奉仕委員会として各クラブへの卓話訪問を中心に活動させて頂きました。

その中で、職業奉仕への思いは、当初気薄と感じた思いもありますが、ロータリーも年々変わりつつあり職業奉仕に付いての考えも変わりつつあります。その中で一年間皆様に御協力頂き大変感謝申し上げます。



ロータリー研修委員会 RLI小委員会
委員長 海寶 勲一 (千葉西RC)

今年度のRLIは例年になく参加者の熱意を高く感じました。東京2地区からの参加があり、活気満ちたパートI・II・III・卒後・ファシリテーター養成の各プログラムでした。セッションで胸襟を開き語り合い、学び合うロータリー談義の価値と楽しさを存分に習得できました。実務を担った地区RLI実行委員会も、ロータリーの魅力を見出し自己研鑽するRLIカリキュラムを、しっかりと推進する責務を果たしました。次年度に向け地道な研鑽が始まります。



奉仕プロジェクト統括委員会
統括委員長 堀内 正一 (木更津RC)

今年度統括委員長として、活動を通じ様々な課題が見えて参りました。

例えば、83クラブの活動状況に大きな差があり、同じ支援方法では、なかなかご理解を頂く事が難しくなっている事。今後は各クラブへの研修を通じ会員意識の向上を図る事が必要と思いました。

次に各委員会との連携についてです。連携の必要性を年度初めに会議を通じ丁寧に説明しご理解頂くことが大切だと痛感しました。

各委員会・会員の皆様には「ロータリーの目的」の推進にご協力頂き感謝申し上げます。



社会奉仕委員会
委員長 石井 弘 (松戸西RC)

めまぐるしく動く時代に、変化対応が必要なのはロータリーも同じです。

いま、改めて下記の事項を検討する時期来ているのではないかと思います。

- 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域のニーズ検討させること。
 - 社会奉仕プロジェクトがロータリーでなくては出来ない事業なのか。
 - 現在、行われている事業がロータリーらしい活動であれば、それを公共組織、奉仕団体、その他の団体に委譲する事が出来ないか。そうすれば、ロータリークラブは新プロジェクトに携わる事が可能になります。まず一歩踏み出しましょう。
- 新しい風はクラブに活性化をもたらすでしょう。



国際奉仕委員会
委員長 **高木 浩一** (銚子RC)

地区国際奉仕委員として、3年間活動をさせて頂き、最終年、国際奉仕委員長を引き受けさせて頂きました。当初は、どう活動したらよいか大変悩みましたが、奉仕プロジェクト委員会のスローガン「元気なクラブを目指して一歩踏み出そう奉仕活動へ」の下、国際奉仕委員会は、「知ること」をテーマにセミナーや卓話を通して、活動の実例や方法「知ること」を提供してまいりました。そして、この「知ること」により地区補助金・グローバル補助金のハードルが低くなり大変ではあるけれど、そんなに難しくはないんだとわかって頂けるよう、情報研究会の場を借りPRをさせて頂きました。また、国際奉仕アンケートの実施により各クラブの実情が把握でき、これからの国際奉仕活動の参考になると考えます。そして、1年を通して、時間というものは使い次第で感じ方が変わることを実感いたしました。「乗り気でない、やる気がない」時には長く、「夢中になっている」時には短く感じる。振り返ると、この1年半は後者だったように感じます。



インターアクト小委員会
委員長 **森田 雅久** (松戸RC)

昨年4月より木更津総合高等学校IAC(木更津東RC提唱)が年次代表となり、千葉県高等学校文化連盟・第2790地区の共催による「第50回IA年次大会」、「第29回IA国外研修(台湾台北市)」、本年4月からは市原中央高等学校IAC(市原RC提唱)が年度代表を引き継ぎ、千葉黎明高等学校IAC(八街RC提唱)の運営で「第50回IA指導者講習会」を開催しました。本年度のIACは事故やトラブルもなく、例年以上に活発な活動が展開されたと思います。これもIAC各校・提唱RCのご支援のお陰と心より御礼を申し上げます。



ロータリー青少年交換小委員会
委員長 **諸佐 博** (小見川RC)

本年度は長期派遣候補生5名、短期派遣候補生3名及び来日生2名と各種行事をROTEXの協力の下、賑やかにそして楽しく行ってきました。全ての学生の派遣先が決まり、ほっとすると同時に、彼らの成長を見るのが何よりの楽しみです。どうぞ皆さんも温かい目で見てあげて下さい。多くのロータリアンが青少年交換事業に関わり、目に見えて成長する学生を見る喜びを感じていただければ幸いです。



青少年奉仕委員会
委員長 **齋藤 豊久** (勝浦RC)

青少年奉仕委員会は他の委員会と違い、14歳から30歳までの若い世代との触れ合いの委員会であるが故、考えることの多い一年でした。

4委員会全ての彼ら達との出会いは、記録に留まらず私達大人にとって大変貴重なものになりました。彼らの発する言葉・行動には感動を覚え、遠い昔に感じた若き血潮を蘇る気持ちになりました。この気持ちを、各ロータリアンにも若い世代との触れ合いを多くもって頂きたいと思います。



ローターアクト小委員会
委員長 **佐藤 康弘** (千葉RC)

さらに魅力あるローターアクトクラブにするためには何が足りないのか、そして何を変えていかなければならないのかを、ロータリアンとローターアクターが一緒になって考え、見守るローターアクトから一緒に参加するローターアクトへ、若者が自発的に参加したくなるローターアクトへ、ロータリーと共に進化できるローターアクト目指して運営できれば幸いです。ローターアクトクラブの繁栄を願い来年度も委員で参加させていただきたいと思っております。一年間ご協力いただきまして本当有難うございました。



R.Y.L.A.小委員会
委員長 **大谷 京子** (千葉北RC)

現在のR.Y.L.A.小委員会の主な活動は1年に1度100名程度の青少年およびロータリアンを集めてR.Y.L.A.セミナーを行うことです。

地区内の一部の会員(地区委員および実行委員)が想いを持って一生懸命活動し、一部のクラブ(地区の半数程度のクラブからの登録)からしか来ない登録に、地区のたくさんの資金を使わせていただき、参加者の皆さんが「参加してよかった」と言ってくれるこのセミナーを地区の一部のメンバーしか知らないという現実をどうにかしたいです。



学友会委員会
委員長 酒井 秀光 (茂原RC)

学友会委員会は青木ガバナー年度より開設された新しい委員会です。

目的はロータリーファミリーの一員であるロータリー学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をするのが地区学友会委員会の役割で、地区内の学友会の監督にもあたらなければいけない立場です。しかし、出来たばかりの委員会なので手探りの状態であったと反省をしています。事業としては財団学友会総会と米山奨学生、学友とのBBQ大会の参加と委員会主催の「ロータリーファミリー同窓会」を開催し、青少年奉仕委員会を含めたロータリーファミリーとの交流が出来ました。次年度はさらに一歩進んだ委員会を目指したいと思います。

委員長 年間所感

ロータリー財団委員会



財団資金・推進管理小委員会
委員長 水野 晋治 (柏西RC)

今年度当委員会では財団セミナー、補助金管理セミナーや財団月間を中心に地区内クラブ卓話に出向き、ロータリー財団への寄付、日本国内各地区の寄付状況、当地区の寄付状況をご説明してきました。特にこの地区から寄付ゼロクラブの撲滅に力を入れてきました。

国内地区や当地区の過去の寄付状況を分析したデータベースを作りましたので、来年以降にも引き継いで行き、寄付増進に役立てていただく仕組みを作りたいと思います。



ロータリー財団委員会
委員長 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

就任2年目を迎えました今年度は、奉仕プロジェクト委員会とのコラボレーションに注力し、前期8月と後期2月のセミナーをそれぞれ協力し共同開催にする事が出来ました。

次年度地区補助金は15,608,922円の事業に対し6,658,228円の補助金を決定し、グローバル補助金奨学生1名を選出しました。クラブを通じ、地域の方々と共に歩むロータリーの姿勢が出せたのではないかと感じています。地区内83クラブ全ての会員皆様の御協力に感謝と敬意を表します。



グローバル補助金小委員会
委員長 時田 清次 (市原中央RC)

グローバル補助金事業GG1634195は、勝浦RCとコロンボRCが共同でDRINKING WATER PROJECTとして実施しました。

このプロジェクトは2016年9月に完成式をおこない勝浦RCメンバーと私はコロンボへ渡航し完成式に出席しました。約5か所の学校、寺院にDRINKING WATER PROJECTの装置が設置されていて実際に水を飲んでみましたが、おいしい水でした。

住民の喜ぶ姿を見てプロジェクトが成功して良かったと実感しました。

私達のDDFを有効に使用するよう今後ともサポートしていきたいと思っています。



地区補助金小委員会
委員長 **大野 雅章** (千葉RC)

財団委員会のことを全く知らなかった入会5年目の私にとって、この一年は行動しながら学んでいく年となりました。

地区補助金は地区が各クラブの奉仕プロジェクトを財政的にサポートするものです。地区補助金を効果的に活用するためには、各クラブで早期より地域のニーズを調査しプロジェクトを計画する必要があります。皆様のクラブにおかれましても長期戦略を立案し早期の計画による綿密な事業計画を立てていただき、その計画に是非地区補助金をご活用ください。



ロータリー・ポリオ・プラス小委員会
委員長 **鈴木 桂三** (柏西RC)

地区ポリオ・プラス委員会では、2790地区の皆さんにポリオ撲滅を直接訴える機会が殆ど無かったこと。そして、クラブからの卓話依頼もわずか1件と、一番重要なRIのプログラムにもかかわらず、会員一人ひとりの関心が少なかったことは非常に残念であります。

ポリオに関しましては、RIの最優先プログラムであります。

地区ガバナーを先頭に会員のご協力を今後一層、強力にアピールしていく事が一番重要だと考えます。ポリオ撲滅は、もうそこまで来ています。今年中にポリオの伝播が止まるかもしれません。



奨学金小委員会
委員長 **関 一憲** (勝浦RC)

当地区は順調に優秀な「人材」を選考し奨学生として派遣しています。1人の奨学生を派遣するために、多くの人の協力が必要です。帰国後は学友会として活躍していただくのですが、多くの学友が世界で活躍しているので、集まることすら困難な状態です。名簿上は300名程度当地区から派遣しています。今後は学友会とロータリアンが親密な繋がりをつくるのが、課題の1つだと私は感じています。ご協力ありがとうございました。



ロータリー平和フェロースHIP小委員会
委員長 **実川 喜夫** (松戸中央RC)

このプログラムはポールハリス没後50周年を記念し、2002年からスタートしました。

今ではポリオ撲滅に次ぎ、世界紛争解決に向けた人材を育成する重要なプログラムです。

しかし、ロータリーでは知名度が1番低いかもしれません。財団セミナーや地区大会においても、平和フェローの参加や紹介だけでなくこの素晴らしいプログラムをスピーチしてもらい、ロータリアンに認知していただき、優秀な日本人を世界に送り出しましょう。



ロータリー米山記念奨学会委員会
委員長 **富 一美** (成田空港南RC)

まずもって、この1年間、地区内83クラブのロータリアンの皆様には、米山奨学事業にご理解とご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。本年度は、米山奨学事業にとりまして大きな飛躍の年でした。何と申しましても、米山奨学事業が国際ロータリーからの高い評価を得て、本年度の韓国ソウル国際大会から正式プログラムに米山が入ることになり、史上初となる歴史的3イベントが開催され、日本の米山から世界の米山へ改めて認められましたことです。さらに、年度切り替えの7月を迎えますと、ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年を迎えます。この8月26日(土)に九州熊本で、世界各国、日本各地からの米山学友・奨学生と日頃米山に関わり深いロータリアンメンバー、家族が一堂に会して、この50周年を祝う盛大なイベントが開催されます。今後とも、皆様の更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。

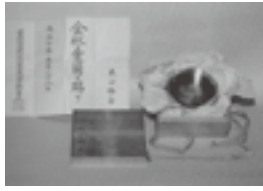
委員長 年間所感

ロータリー米山記念
奨学会委員会

米山梅吉記念館便り

シリーズ 10 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、大正6年(49歳)に日賀田種太郎委員長の政府特派財政経済委員に任命されました。一行はサンフランシスコ到着後、セントルイス、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンなどで、朝野の要人と交流をかさねましたが、米山は一人「南方に旅行し日米綿花に関し将来の発展に就き取調べをなしたること」のためにダラスに向かい、大正7年の元旦を福島喜三と共にしました。福島家のサイン帳には「はからずも御親切になり此地に新年を迎へ候を永く記念すべく候 大正7年1月元旦 米山梅吉」と記され、俳句3首を残しています。福島は当時ダラスRC会員でしたから、ロータリーの話もしたのではないかと推測されています。



帰国後大正天皇に拝謁、下賜された金杯

米山梅吉関連図書を紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の足音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表なども網羅されています。

米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL: <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp
〔開館時間〕午前10時～午後4時
〔休館日〕月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま206号)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 ― 残り2カ月、よろしくお願いします ―
- ・博士号取得状況 ― ご報告お待ちしています ―
- ・今夏、熊本に集まりませんか? ― 感謝 in 熊本 ―
- ・帰国学友歓迎会で奨学生2期生を紹介 ― 韓国米山学友会 ―
- ・台中文心RCが創立10周年記念式典を開催

《今月のピックアップ記事》

今夏、熊本に集まりませんか? ― 感謝 in 熊本 ―

ロータリー米山記念奨学会は今年7月、財団設立50周年を迎えます。これを記念して、世界の米山学友が集まり50周年の節目を祝う「感謝 in 熊本」が開催されることになりました。

米山学友会合同会実行委員会(実行委員長 何玉翠氏)主催、第2720地区米山記念奨学会委員会と同地区学友会がホスト、当会の後援によるイベントです。

現役の米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンや家族の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください!

- 日 時: 2017年8月26日(土) 午後17時～21時(式典&懇親会)
- 場 所: ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
- 登録料: ロータリアン1万円、米山学友・奨学生5千円、一般友人・家族6千円
- 申 込: 日本国内在住の方は米山学友会合同会へメール送信し指定口座へ振込
- 締 切: 2017年7月31日(状況により変動する場合があります)

※ご希望の方には申込用紙・チラシをお送りします。また、詳細情報を後日、米山奨学会ホームページでご案内します。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight206_pdf.pdf

文 庫 通 信 (356号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「ロータリーと茶の心」 千 玄室 2017 4p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「日本ロータリーの昔話4～7」 深川純一 伊丹R.C. 2016 4p (純ちゃんのコーナーPartXV)
- ◎「日本のロータリアンの使命」 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」 三木 明 2016 1p (D.2680月信)
- ◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」 藤林豊明 2016 2p (D.2580地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーの魅力とは何だろう」 富田英壽 2017 2p (D.2700月信)
- ◎「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」 桑月 心 2017 2p (D.2630月信)
- ◎「今までの100年そして現在」 久世晴雅 2016 4p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「会員を引き込む」 RLI日本支部 2015 3p (RLI参加者テキスト)
- ◎「ロータリー財団を正しく理解する」 鈴木一作 2016 5p

[上記申込先: ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.jp> 開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

コーディネーターニュース

2017年6月号 (2017年5月16日記信)

■ 2017年国際ロータリー理事会で 新ゾーン編成発表

日本のロータリークラブ会員は、ここ数年下げ止まりで微増というところです。世界では、インド、台湾、韓国などが大きく会員数が伸びました。それを受けて、8年ごとに直しされる世界34ゾーンの編成が国際ロータリー理事会で見直されました。

それによると日本は、第3ゾーンは今までの11地区に第2ゾーンから2630地区(岐阜県・三重県)が加わり約35,300名となります。第2ゾーンは第1ゾーンから2570地区(埼玉西北)と2770地区(埼玉東南)と2790地区(千葉)2820地区(茨城)と2840地区(群馬)が加わり約35,400名となります。第1ゾーンは日本の9地区にバングラデシュとインドネシアとパキスタンが加わり約31,200名と編成されました。第1ゾーンに外国が加わっても、ロータリー研究会や他のセミナーはいままで通り日本の全地区合同で開催されます。この編成は、今年6月の国際ロータリー理事会で微調整があり、2020年までに移行が完了する予定です。

■ ゾーンとは

国際ロータリー会長指名委員と国際ロータリー理事を選出するために、国際ロータリー理事会が決めたものです。34ゾーンあり、目安の会員数は1ゾーン35,000名です。理事は17名で任期が2年、34ゾーンの奇数ゾーンからの偶数ゾーンから交互に選出されます。現在の日本の理事は、第2ゾーンの斎藤直美理事(豊田RC)です。また、各ゾーンには国際ロータリー会長の指名により、国際ロータリー研修リーダー、ロータリーコーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターなどの委員が置かれています。

今年度6月で日本のゾーンの3人のコーディネーターが任期満了となります。第1ゾーンの渡辺敏彦公共イメージコーディネーター、第2ゾーンの髙野孫左衛門公共イメージコーディネーター、第3ゾーン安満良明ロータリーコーディネーターです。2014年3月一緒にシカゴで5日間の研修を受けたことが始まりでした。コーディネーターはそれぞれの部門で地区とクラブの支援が目的です。

様々な地区と区分、グループでお招きいただき、ありがとうございました。皆様のお役に立てたかどうか心配です。また、次年度からは新しいコーディネーターと継続のコーディネーターがおられますので、素晴らしい方々ですので、ぜひ声をかけてください。

第3ゾーンロータリーコーディネーター
安満 良明



世界同期のコーディネーター
シカゴでコーディネーターセミナー
2014年3月

叙勲・褒章・表彰（敬称略）

瑞宝双光章 藍綬



齋藤 和實
(松戸北 RC)

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付 年次寄付（マルチプル・ポール・ハリス・フェロー）



青木 修
(流山 RC)
3回目

（新ポール・ハリス・フェロー）



隈元 雅博
(君津 RC)



荒井 潤一郎
(君津 RC)



小林 直人
(柏西 RC)



井上 尊王
(流山 RC)



嶋野 孝平
(流山 RC)

米山功労者



諸岡 靖彦
(成田 RC)
9回目

新ロータリアン（敬称略）



京 克樹
(船橋西 RC)
放送・通信業
3月10日入会



細野 勉
(鎌ヶ谷 RC)
土木工事
4月1日入会



豊田 雅光
(千葉東 RC)
ビジネスサービス
4月3日入会



田中 俊弘
(市原中央 RC)
住職
4月4日入会



前田 徹
(柏西 RC)
弁護士
4月14日入会



持明 康英
(茂原 RC)
普通銀行
4月20日入会



里光 浩二
(船橋西 RC)
証券業
4月21日入会



谷口 弘志
(君津 RC)
建設業
4月24日入会



遠田 祐治
(君津 RC)
スラグ製造販売
4月24日入会



別府 明人
(君津 RC)
機械機具販売
4月24日入会



舟山 大輔
(千葉 RC)
リース業
5月8日入会



橋本 直樹
(船橋 RC)
アミューズメント
5月9日入会



吉岡 正之
(成田コスモポリタン RC)
損害保険
5月10日入会



加藤 智康
(柏 RC)
都市再開発
5月10日入会



三和 正寿
(柏 RC)
証券業
5月10日入会



林 尚子
(市川東 RC)
証券業
5月15日入会



濱田 昌己
(木更津東 RC)
保険業
5月17日入会



栗坂 禎一
(木更津東 RC)
鉄鋼業
5月17日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 出席・会員数報告(2017年4月分)

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会 回数	会員数				
				2016 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	97.91	3	37	0	39	0	2
	市川東	100.00	4	41	0	43	2	2
	市川南	83.00	4	17	2	20	2	3
	浦安	89.20	3	35	2	44	2	9
	市川シビック	85.41	4	35	0	35	0	0
	浦安ベイ	87.17	3	13	0	13	0	0
	平均	90.45	3.50	29.67	0.67	32.33	1.00	16
第2分区	船橋	91.60	4	27	0	27	0	0
	船橋西	86.22	4	40	6	41	7	1
	鎌ヶ谷	83.93	4	32	2	33	2	1
	船橋東	83.19	4	31	2	33	3	2
	船橋南	68.18	4	16	4	16	4	0
	船橋みなと	96.19	4	21	5	21	5	0
	平均	84.89	4.00	27.83	3.17	28.50	3.50	4
第3分区A	千葉	90.71	3	80	3	78	3	△2
	新千葉	85.82	4	50	0	49	0	△1
	千葉西	81.50	4	53	3	51	3	△2
	千葉中央	79.94	4	32	0	34	0	2
	千葉幕張	70.95	4	37	2	37	2	0
	千葉東	71.29	4	33	4	34	6	1
	千葉若潮	65.74	4	31	1	31	1	0
第3分区B	平均	77.99	3.86	45.14	1.86	44.86	2.14	△2
	千葉南	86.11	3	52	7	48	7	△4
	市原	56.99	4	38	2	41	3	3
	千葉港	88.10	4	23	2	24	3	1
	市原中央	71.75	4	50	2	52	2	2
	千葉北	61.90	3	27	3	28	3	1
	千葉緑	68.69	3	27	2	28	1	1
第4分区	平均	72.26	3.50	36.17	3.00	36.83	3.17	4
	木更津	83.27	3	27	3	27	2	0
	上総	65.00	4	17	0	15	0	△2
	富津中央	81.42	4	28	1	31	1	3
	木更津東	75.74	4	40	0	45	1	5
	君津	92.88	4	50	2	55	4	5
	袖ヶ浦	88.46	3	24	3	27	4	3
第5分区	富津シティ	80.20	4	15	1	16	0	1
	平均	81.00	3.71	25.13	1.25	27.00	1.50	15
	館山	79.44	4	53	3	49	3	△4
	鴨川	91.28	4	31	5	32	5	1
	勝浦	96.70	4	37	4	38	4	1
	千倉	70.00	3	10	2	10	2	0
	鋸南	81.81	3	13	1	14	1	1
第6分区	館山ベイ	58.70	4	20	0	24	0	4
	平均	79.66	3.67	27.33	2.50	27.83	2.50	3
	茂原	87.23	3	65	3	65	0	0
	東金	81.86	3	20	1	16	1	△4
	大原	95.00	4	10	1	9	1	△1
	大多喜	91.66	4	5	1	6	1	1
	成田空港南	85.22	3	36	0	36	0	0
第7分区	茂原東	92.50	4	22	2	21	1	△1
	茂原中央	83.59	5	17	2	21	2	4
	大網	79.84	4	30	1	31	1	1
	東金ビュー	69.00	2	20	1	20	1	0
	平均	85.10	3.56	25.00	1.33	25.00	0.89	0

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会 回数	会員数				
				2016 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	83.84	4	39	4	41	4	2
	旭	69.60	4	44	3	44	3	0
	八日市場	78.63	4	39	2	39	3	0
	銚子東	72.84	4	36	2	33	2	△3
	平均	76.23	4.00	39.50	2.75	39.25	3.00	△1
第8分区	佐原	83.86	4	47	0	50	0	3
	多古	83.33	3	15	0	15	0	0
	小見川	85.87	4	23	0	23	0	0
	佐原香取	88.63	4	24	1	25	1	1
	平均	85.42	3.75	27.25	0.25	28.25	0.25	4
第9分区	成田	69.03	4	59	0	70	4	11
	八街	88.26	4	27	2	33	3	6
	印西	91.05	4	23	1	24	1	1
	白井	58.33	3	17	0	16	0	△1
	富里	69.03	4	28	0	29	0	1
	成田コスモポリタン	72.73	4	67	0	69	0	2
	平均	74.74	3.83	36.83	0.50	40.17	1.33	20
第10分区	柏	81.40	4	56	9	58	9	2
	我孫子	71.60	4	22	1	27	3	5
	柏西	89.00	4	61	4	64	3	3
	柏東	90.67	3	32	4	36	6	4
	柏南	74.00	4	30	5	32	6	2
	平均	81.33	3.80	40.20	4.60	43.40	5.40	16
第11分区	習志野	83.83	4	26	1	26	1	0
	八千代	89.91	4	49	0	50	0	1
	佐倉	68.97	5	24	3	29	3	5
	八千代中央	77.90	3	29	2	28	2	△1
	四街道	81.25	4	25	2	28	3	3
	習志野中央	81.52	4	45	5	50	5	5
	佐倉中央	68.25	3	21	4	21	4	0
第12分区	平均	78.80	3.86	31.29	2.43	33.14	2.57	13
	松戸	85.78	4	56	0	57	0	1
	松戸東	91.79	4	46	0	45	0	△1
	松戸北	83.69	4	38	0	38	0	0
	松戸中央	82.05	4	43	6	44	6	1
第13分区	松戸西	89.66	4	29	0	29	0	0
	平均	86.59	4.00	42.40	1.20	42.60	1.20	1
	野田	79.88	3	58	8	60	8	2
	流山	78.56	4	14	4	14	4	0
	野田東	68.18	4	23	0	22	0	△1
	流山中央	80.25	4	23	2	23	2	0
第14分区	野田セントラル	83.33	4	23	0	25	1	2
	平均	78.04	3.80	28.20	2.80	28.80	3.00	3

クラブ数83RC		
2016年7月1日	地区会員数	2,729人
2017年4月末日	地区会員数	2,825人
2016年7月1日	地区女性会員数	166人
2017年4月末日	地区女性会員数	183人
当月平均出席率		78.50%
増減		+90
女性会員増減		+16

6月のロータリーレート

110円

KIRA CLUB in DISTRICT 2790

浦安RC

快晴の4月16日(日)、浦安市運動公園とディズニーリゾート周辺にて、およそ1500名の地元住民参加を得「第17回浦安チャリティーウォーク」が開催された。

この「チャリティーウォーク」は「歩こう!世界の子供たちのために」を合言葉に、運動公園をスタート・ゴール地点としディズニーリゾートの周囲6kmを歩くもので、参加者は地元高校の吹奏楽部と災害救助犬先導のもと、ディズニーリゾート周辺のホテルや東京湾、東京タワー、東京スカイツリーなどの景色を楽しみながら散策をする。ウォーク後運動公園内で地元高校の吹奏楽の演奏、よさこい踊りの演奏、ちびっこ参加型『恋ダンス』コンテスト、協賛ホテル宿泊券抽選会などのイベントや、ディズニーリゾートオフィシャルホテルのご飯を500円のワンコインで楽しめるコーナー等も設けられる。計8社のホテルの好意で当日のご飯の売上は全て寄付に充当。1991年の開催以来今回で17回目、30を超える協力団体や、100近くの協賛企業に支えられ毎回開催されている。

寄付先の選定は毎回丁寧に検討を重ね、基本的には会員自らが現地に寄付金を届け、その後どのように活用されているかを見届け、経過報告をするとのこと。今回は、タイの山岳民族の子供たちへの文房具寄贈、タイのチェンマイ市の学生への学費支援、人身売買抑止のためカンボジアのコミュニティファクトリー運営支援を寄付先として選定。チェンマイ市の学生への学費支援は市川南RC、タイチェンマイ西RCと一緒に1996年から続けてきた合同プロジェクトで、毎年20名以上の小中学生に1年間の学費を支援。山岳民族への寄付とは、前回から追加となったプログラムでミャンマーとの国境付近の村を、会員自ら数日かけて文具を手渡しして周る。今回は校舎の増築費用として寄付金を渡し、完成後に再訪問する計画がある。カンボジアの支援とは、現地で10年以上人身売買抑止の活動をしているNPO法人「かものはしプロジェクト」を通しての寄付で、こちらでも会員の現地視察と事後報告を企画している。

「仕事でもロータリー活動においても“明るく、楽しく、元気よく!”を個人的なモットーにしてきた。当日は家族全員でチャリティーに参加して頂いた皆さんの楽しそうな笑顔を目の当たりにして、逆に自分自身元気なエネルギーを頂く一日となった。本事業にご協力ご協賛をいただいた2790地区の多くの皆様へ深く感謝したい。」浦安RC田上義明会長は笑顔と共に熱く語る。



心のリフレッシュのために『ロータリーの友』をめくってみよう

ロータリーの友委員会 地区代表委員 金井 浄
(成田コスモポリタンRC)

同じこと繰り返しの仕事も大事ですが、時には見つめなおしてみる必要があります。マンネリの弊に陥らないためです。一見自分の仕事や関心事でなくとも同じロータリアンが真摯に向き合っている姿を見ると何らかの刺激を得る筈です。

『ロータリーの友』を開いてみては如何でしょう。皆さんにもきっと素晴らしい発想が生まれると思います。

周年記念 おめでとうございます

6月6日火

流山中央RC 創立30周年

6月8日木

船橋東RC 創立40周年

今月の表紙



市制80周年記念 船橋港親水公園花火大会

【日時】2017年8月2日(水) 19:30 ~ 20:30 ※小雨決行、荒天の場合は翌日に順延

【場所】千葉県船橋市 船橋港親水公園、船橋漁港内

今年、船橋市は市制80周年を迎えました。

ここ、船橋市では、人と人がつながり、過去から現在へとたくさんの魅力がつながれてきました。今宵の花火大会は、そんな船橋の魅力を改めて花火で紹介し、さらなる未来へとつないでゆきます。市制80周年を祝う花火大会。どうぞ心ゆくまでお楽しみください。